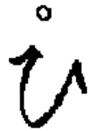
ロジスティクス研究会

ファックス通信 題字浅井時郎東ト協名誉会長 インターネット・ホームページ URL http://www.totokyo.or.jp/ e-mail:sounenbu@tta.ne.jp

~安全と安心の共創~







(社) 東京都トラック協会編集人 大淵隆次 東京都新宿区四谷3丁目1番8号 TEL.03-3359-4137 FAX.03-3359-6020

2008年1月31日発行 1月号 No. 156

◇平成20年(2008年)年頭の挨拶

本部長 竹内 政司〔多摩支部 竹内運輸工業(株)〕



明けまして、おめでとうございます。

今年も天候に恵まれ、穏やかでとても良いお正月を迎えられたこと と思います。

こうして皆様と一緒に、新しい年を迎えられましたこと、とても嬉しく思っています。

昨年一年間のご協力と、そして貢献に、心から感謝を申し上げます。 ありがとうございました。

今年は「ねずみ年」ですが、2008年(平成20年)の干支は正確には、戊子(つちのえね)と言うそうです。「戊」(つちのえ)は、「茂る」を意味し、草木が大地に生い茂っている様子、「子」(ね)は「増える」を意味し、種子の中に新しい生命が芽生える様子を言うそうで、今年は、とても縁起の良い年まわりのようです。ねずみはその繁殖力から子孫繁栄の象徴としても人気があり、株の世界では「ねずみ繁盛」という言葉もあるそうです。また、古来よりネズミは働き者でたくさんお金を運んでくる、と言われていますし、五穀豊穣の象徴にもなっているとても縁起のよい動物として親しまれています。特に白ねずみは大黒様のお使いとして古くから良いことが起こる兆し、つまり吉兆とされています。

ところがどうでしょう?、年明け早々原油価格1バレル100ドルのニュースが飛び込んできました。サブプライム問題に大揺れに揺れるアメリカ経済の減速、金融不安。大発会では、昨年終値を下回る株価となり、波乱含みの幕開けとなりました。

しかし原油価格にしても株価にしても実体経済の結果としてのものではなく、どうも投機筋やマインドの部分が先行している、とも言われています。この先どうなるかを心配し、心を乱され一喜一憂するよりも、今に集中し、自分たちが今直面している問題を解決すること、今を解決することを積み重ねることが、明るい未来を作っていく近道ではないかと考えます。

今、社会が求めているものは何でしょうか。

昨年一年間の世相を漢字一時で表す、日本漢字能力検定協会が公募で選ぶ2007年「今年の漢字」に「偽」(ぎ)=「偽」(いつわる)=という字が決まりました。ミートホープや「白い恋人」の石屋製菓、不二家や赤福、船場吉兆など大手や老舗で相次いだ食品をめぐる偽装を反映して選ばれたと言います。そのことは裏を返せば、社会が求めているものは、「正直」「信頼」という事ではないでしょうか。社会で起きる様々な事故に対する「安全・安心」と同時に、食べ物に対する信頼、つまり経営者はもちろん、そこで働く一人ひとりの「品質に対する正直さ」、一人ひとりが持つ職業観や倫理観、道徳心、責任感、あるいは公共心と言うものが問題にされているのだと思います。「お天道様は見ていますよ」「お天道様に恥ずかしくない仕事をしていますか」、という事ではないでしょうか。

会社の信頼はそこに働く我々一人ひとりが作り上げるものだと思います。協会の信頼、緑ナンバーへの信頼はそこに加盟している一社一社が作り上げるものだと思います。環境に配慮し、輸送品質を保持し、安全な運行を提供することにより、お客様や社会に安心を伝えることがとても重要だと思います。ハンドルを握る一人ひとりが、「少し位のスピードオーバーならまあ、いいや!ーーー」という事ではなく、決して妥協しない安全運転を実行することが大切です。

お客様や社会に安心をお届けする。そのお届けした安心が、信頼となって我々に帰ってくるものだと思います。我々は、絶対に安全の軸がブレてはいけないのです。信頼は誰が作ると思いますか?。事故の無い、安全で安心な社会は誰が作ると思いますか?。そう、全て私たち一人ひとりなのです。

自分達の未来は、自分達の手で守り、切り開いていくものです。今、この瞬間、事故を起こさない、今の連続が未来に繋がることを信じて、この新しい年を元気で飛躍の年にしていきましょう。 今年も宜しくお願い致します。

《百文字のひろば》 倉持 喜一〔葛飾支部 侑倉持運送店〕

先日、私は気分良く環七をマイカーで走行中マーク屋に捕獲された(マーク屋とは白バイのことである)。 「何でや」と聞くと、「信号無視!」 私は、ゴネもせず素直に応じた。理由は彼の態度が商人以上に腰が低い。相手に気分良くサインさせれば、ほんの数分で9千円の売上となるのだ。

◇ロジ研中央支部壮年部発足にあたり。

支部壮年部長 下川 悟〔中央支部 (株)プライム物流〕

この度、中央支部に支部の部会とし同じ志を持った会員が諸先輩のご 尽力で揃い発足する事となりました。

そこで、諸先輩より中央支部ロジスティク研究会部長をやれと言われ 支部の部長を就任しました。

私は日頃、複数の会社を見ていますが、社員の世間の地位が低いと思っていますので、支部、ロジ研を通じ社員の地位向上とコスト意識の向上が、牽いては個人の収入増と会社の収益増だと考えていますので、これを目標に掲げ活動したいと考えております。

中央支部ロジスティク研究会部長は重責だとは思ったのですが、諸先輩のご協力とアドバイスを頂きながら頑張りますとので宜しくお願いいたします。

◇特集「バンコク視察報告」Ⅲ

「タイに山田長政を訪ねて」(温故創新)

企画委員 相楽 俊一郎 [足立支部 大徳運輸(株)]

空港をおりていつも感じることは、欧米にはない安堵感です。なぜこのような懐かしい感覚になるのか考えてみました。

日本国とのゆかりが深いこともそうですが、それはタイの人と我々日本人との共通点にあると思います。

微笑みの国、そうタイスマイルに惹かれるからかも知れません。

宗教的なこともそうですし、もともと大家族制のタイですので、年配の人を気遣うところなど日本人に相通じるところなのでしょう。

おおらかで、勤勉、もてなしの心を忘れない愛すべきタイの人々。ビジネスを通じてもよいパートナーになる相性のよい人々と感じるところでもあります。

また訪れたい場所のひとつになりました。合掌

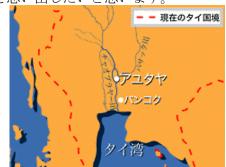
そんなタイで、今をさかのぼること 350 年以上前に活躍した日本人、 山田長政を温故創新として訪ねました。

彼は、駿河の大名の籠担ぎから身を起こして、日本を遠く離れたシャムの地で活躍し、最後にはタイの一地方の王国・六昆(リゴール)の王にまでなった人物として伝えられますが、一説には、「太平洋戦争当時、軍部の大東亜共栄圏を正当化するためにも、国民に東南アジアを身近に感じさせる必要があったことから、日本人が昔から東南アジアで活躍していたという証拠として、山田長政という人物を意図的に作り上げた」という説もあります。

しかし、今回はそのアユタヤの日本町跡に山田長政の足跡を訪ね、現 地の日本人会の方々に色々とお話しをうかがうことができました。

当時の17世紀には、シャム(タイの旧名)は今のバンコク王朝ではなく、アユタヤに首都を置くアユタヤ朝が支配しており、アユタヤは、チャオプラヤー川と数多くの支流を通じてもたらされるタイ内陸からの物流とタイ湾を通してやってくる東南アジア交易網とが結びつく地点にあるという地の利を生かして、古くから交易が盛んな豊かな国であり、山田長政の足跡を示す資料も示されました。やはり実在の人物として活躍されていたということを強く感じました。

近年、山田長政をテーマとした映画も撮影されているとのこと、ぜひ 映画でアユタヤを思い出したいと思います。



◇お知らせ*《行事予定》*

- ◇三組織合同セミナー・新年会2月7日(木)於:ロイヤルパークホテル
- ◇正副本部長会議 2月14日(木)17:00~ 於:東ト総合会館6階 ◇ロジ研フォーラム3月4日(火)14:00~ 東ト総合会館
 - ※近日お知らせします。基調講演にパネルディスカッション等、
- 内容の充実を図っています。是非、ご予定をお願いします。 ◇ロジ研親睦ゴルフ3月15日(土)から17日(月)に変更になりました。